



## はじめに

### ◇本書の方針と特徴◇

近年国際化が進むにつれて国際語としての英語を使用する必要性がますます高くなってきました。さまざまな職場や環境で、英語によるコミュニケーション能力が求められています。知識や技能の習得に加えて、英語表現力の涵養が現代人にとって欠かせないものになっているといえるでしょう。

本書はまとまりのある英文を読んで理解力を深めると同時に、重要な語彙や語法に習熟し、さらに筋だった英文を正確に書く能力を高めることを目標にした、大学生のための総合英語教材です。

本書の基本素材となる24編の英文エッセイは、米国出身で長らく日本の大学で英語教育に携わった経験をもつロバート・H・エリックソンが執筆しました。扱った題材は、インターネット、東日本大災害、遺伝子組み換え食品、ハイブリッド・カー、風力発電、スーパー・クールビズ、東京スカイツリー、ファスト・フード、裁判員制度、ボランティア活動など現代性・社会性の高いものから、インド映画、早期才能教育、笑いヨガ、クジラ観光ツアーなど芸術性・文化性あふれるものまで、多様で多彩な、じつに興味深い領域にわたっています。話題の出所も日本にとどまらず、アジア、ヨーロッパ、南アメリカ、オーストラリアにまで及んでおり、本書の題名どおりまさに「グローバル・トピックス」に目配りしています。本書をじっくり読むことで、読者の視野はおのずと広がり、知性も感性も大いに刺激を受け磨かれることになるでしょう。

英語テキストとしての内容を豊かにするため、本書では各エッセイに注(Notes)をつけるとともに、各種の練習問題(Exercises)を用意し、理解度をチェックしたり、語彙・慣用表現を確認したり、じっさいに英文を書いてみたりする訓練ができるよう編集しました。英文を書く量は比較的によく、その点で本書は英作文用テキストとしても好適です。ほかに「よく使う語句は覚えよう」のコラムも設け、多面的な構成にしました。以上が本書の主な目標であり特徴です。

英語の学習では、それなりの速度をもって英文の内容を読み取ることが肝要です。それも文字からだけでなく、音声を通して(聴覚によって)同時に意味を理解することが大切です。そのためには知っている語彙の量を増やし、文法や語法を確かなものにし、そのうえで文章を暗記しておく必要があります。「習うより慣れろ」(“Practice makes perfect.”)ということわざがあります。役に立つ表現を繰り返し練習し、継続して使うことで、きっと英語をマスターする道が開けます。

## ◇本書の構成と使い方◇

本書は1年間の授業時間数を考慮して24のUnitで構成しました。各Unitの冒頭には2行のイントロダクションをつけ、英文エッセイ（本文）を読む前のささやかなウォーミングアップになるように配慮しました。

英文エッセイはExercises を解くための基本となる題材ですので、ていねいに、しかしある程度の速度をもって読んで、本文の内容を把握してください。本書には音声教材として朗読CDが用意されておりますので、文字で読む前に音声のみで本文を聴いてみると聴解力を高めるのに効果的です。

本文の内容把握を容易にするため、十分ではないかもしれませんが、注（Notes）をつけ、訳語を与えてあります。訳語は絶対的なものでなく便宜的なものですので、それをもとに学習者は適当な訳語に改める工夫をしてください。

「よく使う語句を覚えよう」のコラムでは、原則として本文と関わりのある英語の語句をまとめてみました。文章として挙げてはおりませんが、覚えて使ってみてください。

Exercises はI～Vに分けてありますが、それぞれの形式で理解力と応用力を高めるための問題です。必ず自分で解答を出してください。正答が与えられたあとは、英文全体を音読し、できるだけ暗誦することをおすすめします。習熟するためにはじっさい使ってみることが大切です。

Iは、本文の内容についての理解度を確認する正（T）誤（F）判別問題です。

IIは、本文で使用されている英単語と同じ意味の英語による説明を選ぶ問題ですが、単語が名詞の場合は単数形、動詞は原形で示してあります。日本語訳でなく、英語による説明に慣れることも大切です。

IIIは、本文に表われた熟語、慣用語句、慣用構文などを整理し、確認するための穴埋め問題です。正答が与えられたあとは、徹底して音読し、文章を丸ごと覚えるようにしてください。

IVは、英文の構成力を高め、単語や語句の連なりに対しての理解を深めるための並べかえ問題です。複雑ですが、じっくり考え完成させてください。完成後は音読して、口頭で表現できるよう練習することが望ましいです。

Vは、本文の内容にそった日本語を英文にする問題ですが、1～4が連続することでまとまった文意を表すように作問してありますので、自分の意見を発信する能力が強化されます。1～4の文全体を繰り返し音読し、あるいは書き写して、表現力をアップさせましょう。

最後になりましたが、本書の出版にあたり、開文社出版（株）の安居洋一社長には企画段階からたいへんお世話になりました。この場を借りて深く御礼申し上げます。

2011年9月

著者

# UNIT 1

## The Internet : For Better or for Worse?

### インターネットの功罪？

インターネットは現代生活に必須の便利な通信手段であるが、一面で危険な落とし穴を隠している。長く付き合っていくには、そのマイナス面もよく知っておく必要がある。

In a traditional marriage ceremony, the bride and the groom promise to stay with each other “for better or for worse.” In other words, they are promising to support each other through good times and bad times. Of course, considering the growing number of divorces, this promise is not always kept. However, this phrase is a useful expression to describe the situation of millions of people who seem “wedded” to the Internet. Since  
5 so many people spend so many hours each day surfing the Internet, we might ask the question, “Does the Internet have a better or a worse influence on our lives?”

Let us look first at some positive aspects of the Internet. If we accept the adage that says, “Knowledge is power,” then the Internet has given people all over the world the  
10 power to become knowledgeable about almost any subject imaginable. This is largely thanks to Wikipedia, the free encyclopedia which contains more than 17 million articles in more than 270 languages. Wikipedia has just turned 10 years old and is used by about 400 million people every month. The fact that this impressive encyclopedia is available  
15 all the various articles contained in Wikipedia. Of course, the main credit should go to the founder of Wikipedia, Jimmy Wales. He expresses his own utopian goal by saying: “Imagine a world in which every single person on the planet is given free access to the sum of all human knowledge.” This is certainly a worthwhile ideal goal to aim for.

Now, what about the other side of the coin? How can the Internet have a negative  
20 effect on our lives? Among the many complaints that are heard these days, the most common is “Internet addiction,” especially among the young. Parents all over the world are worried that their children are spending more time surfing the Internet than on doing their schoolwork. In fact, there are now “Internet addiction” treatment centers located in several cities to help treat and help rehabilitate such victims. In addition, there are various  
25 illegal scams (referred to as “phishing”) which target innocent people to trick them out of money or even to steal their personal identity information. This invasion of privacy can result in terrible financial loss to the victims concerned.

In short, a person should approach using the Internet with the same caution and careful

forethought as when getting married. It is no coincidence that the words “for better or for worse” are so stressed during the marriage ceremony. Before getting married, the new couple should be fully aware of both the positive and negative aspects of their new relationship. This same awareness should also be clear to any person who attempts to make the Internet an integral part of daily life. The Internet should be used to better, not to worsen the quality of our lives.

### < Notes >

タイトル **for better or for worse** 「よかれあしかれ;どんな運命になろうと」 6. **surfing the Internet** 「インターネットのサイトをあちこち見て回る;サーフィンする」 8. **adage** 「格言」 13-14. **available for free** 「無料で利用できる」 15. **credit go to ~** 「~の功績である」 16. **Jimmy Wales** 「ジミー・ウェールズ」 (1966- ) 「ウィキペディア」の創始者でウィキメディア財団の名誉理事 17. **give free access to ~** 「~に無料でアクセスできる」 19. **what about ~?** 「~はどうだろうか?」 21. **addiction** 「中毒」 25. **scam** 「汚い手口;詐欺」 25. **phishing** 「フィッシング(詐欺)」 25. **trick ~ out of ...** 「~から...をだまし取る」 29. **it is no coincidence that ~** 「~はまったくの偶然ではない」 33. **integral** 「不可欠の」



インターネットにも功罪がある?

### ◆よく使う語句を覚えよう 【パソコン・インターネット】

- |                                     |                                     |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| ● <b>operate</b> 操作する               | ● <b>forward an e-mail</b> メールを転送する |
| ● <b>connect</b> 接続する               | ● <b>do research</b> 調べ物をする         |
| ● <b>initialize</b> 初期化する           | ● <b>spam e-mail</b> 迷惑メール          |
| ● <b>single-byte character</b> 半角文字 | ● <b>anti-virus soft</b> ウィルス対策ソフト  |
| ● <b>double-byte character</b> 全角文字 | ● <b>tweet</b> ツイッターでつぶやく           |

# EXERCISES

**I** 本文の内容と一致しているものにはTを、一致していないものにはFを（ ）の中に記入しなさい。

1. ( ) The number of divorces has been decreasing.
2. ( ) Articles in Wikipedia can be written by both specialists and amateurs.
3. ( ) Young people tend to be more interested in surfing the Internet than in studying.
4. ( ) “Internet addiction” can have some bad effects.
5. ( ) The Internet should not be an integral part of our lives.

**II** 次の語の意味に最も近いものを一つ選び、その記号を（ ）の中に記入しなさい。

- |                 |     |   |
|-----------------|-----|---|
| 1. groom        | ( ) | A. against the law                            |
| 2. describe     | ( ) | B. ready to be used; obtainable               |
| 3. available    | ( ) | C. a man newly married or about to be married |
| 4. divorce      | ( ) | D. putting an end to a marriage by law        |
| 5. encyclopedia | ( ) | E. entering territory with force              |
| 6. complaint    | ( ) | F. statement that one is dissatisfied         |
| 7. illegal      | ( ) | G. state in speech or writing                 |
| 8. invasion     | ( ) | H. a book or a set of books on every subject  |

**III** 次の英文と日本語がほぼ同じ意味になるように（ ）の中に英語（与えられた文字で始まる語）を書き入れなさい。

1. (T ) of people participated in the athletic meet.  
数千人がその競技会に参加した。
2. The weather had an ( e ) on the crops.  
天候が作物に影響を及ぼした。
3. A lot of ( c ) went to him.  
彼はたいへんな名誉を得た。
4. Students are given full ( a ) to these computers.  
学生たちはまったく自由にこれらのコンピューターを利用できる。
5. “We have chosen the food. Now, ( w ) about wine?”  
「食べ物が決まった。さて、ワインはどうしよう？」
6. It was no ( c ) that they met there.  
彼らがそこで出会ったのはまったく偶然ではなかった。

**IV** 次の日本語の意味と同じになるように、語句を並べかえて英文を完成しなさい。

1. クレジット・カードの誤った使い方はたいへんな金銭的損失をもたらす結果になる。

[ financial / result / of / loss / can / in / credit cards / terrible / use ]

The wrong \_\_\_\_\_

2. この博物館が無料で利用できるのはボランティアの人々の努力によるものです。

[ volunteer / is / to / to / this / efforts / museum / thanks / access ]

Free \_\_\_\_\_

3. 今こそ、「急がば回れ」という格言に従うべきだ。

[ to / the adage / us / waste / time / accept / makes / haste / for ]

It is \_\_\_\_\_

**V** 次の日本語を与えられた語句を用いて英文にしなさい。

1. 今日、何百万もの人々がインターネットを長時間利用している。(millions of)

Today \_\_\_\_\_

2. 確かにインターネットでは多くの情報を入手することができる。(kinds of)

It is true that \_\_\_\_\_

3. しかし、インターネットは私たちの生活に大きな影響を及ぼす。(effect on)

However, the Internet \_\_\_\_\_

4. インターネットの使い方には十分注意しなければならない。(pay attention to)

We \_\_\_\_\_